本巣初のメガソーラー

パネル4200枚315世帯分

名古屋の業者 11月完成へ起工式

「JESテイコク」（名古屋市）が本巣市文殊の採土場跡地に建設する大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の起工式が二十三日、現地であった。発電出力は一メガワットで、本巣市内でのこの規模の施設整備は初めて。

本巣市文殊の採土場跡地に整備される大規模太陽光発電施設の完成予定図（JESテイコク提供）

年間発電量は三百十五世帯分に当たる百十万キロワット時。十一月に完成し、年内に稼働させて中部電力（名古屋市）に売電する。西秋沢生産森林組合（岐阜市）が所有する採土場跡地二ヘクタールを二十年間借り、太陽光パネル四千二百枚を置く。事業費は約三億五千万円。売上高は年間四千四百万円を見込む。

起工式には関係者ら三十人が出席。JESテイコクの松島穣社長（39）は「使い道のなかった土地を有効活用したビジネスで、地域の役に立ちたい」と語った。（佐久間博康）